

討議の論点・進め方

1. 基本的な考え方

- (1) 対象地区
 - 検討の対象地区は、高岳引込線沿線とする。
- (2) 基本認識
 - 現在の地区の需要(人口等)では、新交通システムの運賃収入だけで採算性を確保できる見通しは少ない。
 - 一方、沿線地区での新たな市街地開発や利用促進策(運賃割引や広告、イベントなどの賑わいづくりの仕掛け)等による需要創出を視野に入れ、沿線地区のまちづくりと新交通システムを一体的に検討する必要がある。
- (3) 調査の進め方【図 1 参照】
 - 平成 27 年度(今年度)から 29 年度にかけて調査・計画・設計を行い、平成 30 年度以降に整備を目指す予定とする。
- (4) 検討の進め方【表 1 参照】
 - 今年度は、検討委員会等を通じて以下をとりまとめることを目指す。
 - ◇ 沿線まちづくり構想
 - ◇ 交通システム導入の基本方針・ネットワーク計画
 - 今年度は、検討委員会とあわせて、まちづくり部会と交通システム部会を並行して開催し、具体的な検討を進める。

2. 論点 ～今年度の検討委員会で討議いただきたい主な内容～

- (1) 沿線まちづくり
 - ✓ どのような土地利用や都市機能が必要か
(健康、医療、教育、文化、環境、福祉、交通安全、防災、商業、観光、コミュニティ等)
- (2) 新交通システム
 - ✓ 沿線まちづくりの実現にはどのような交通システムが必要か

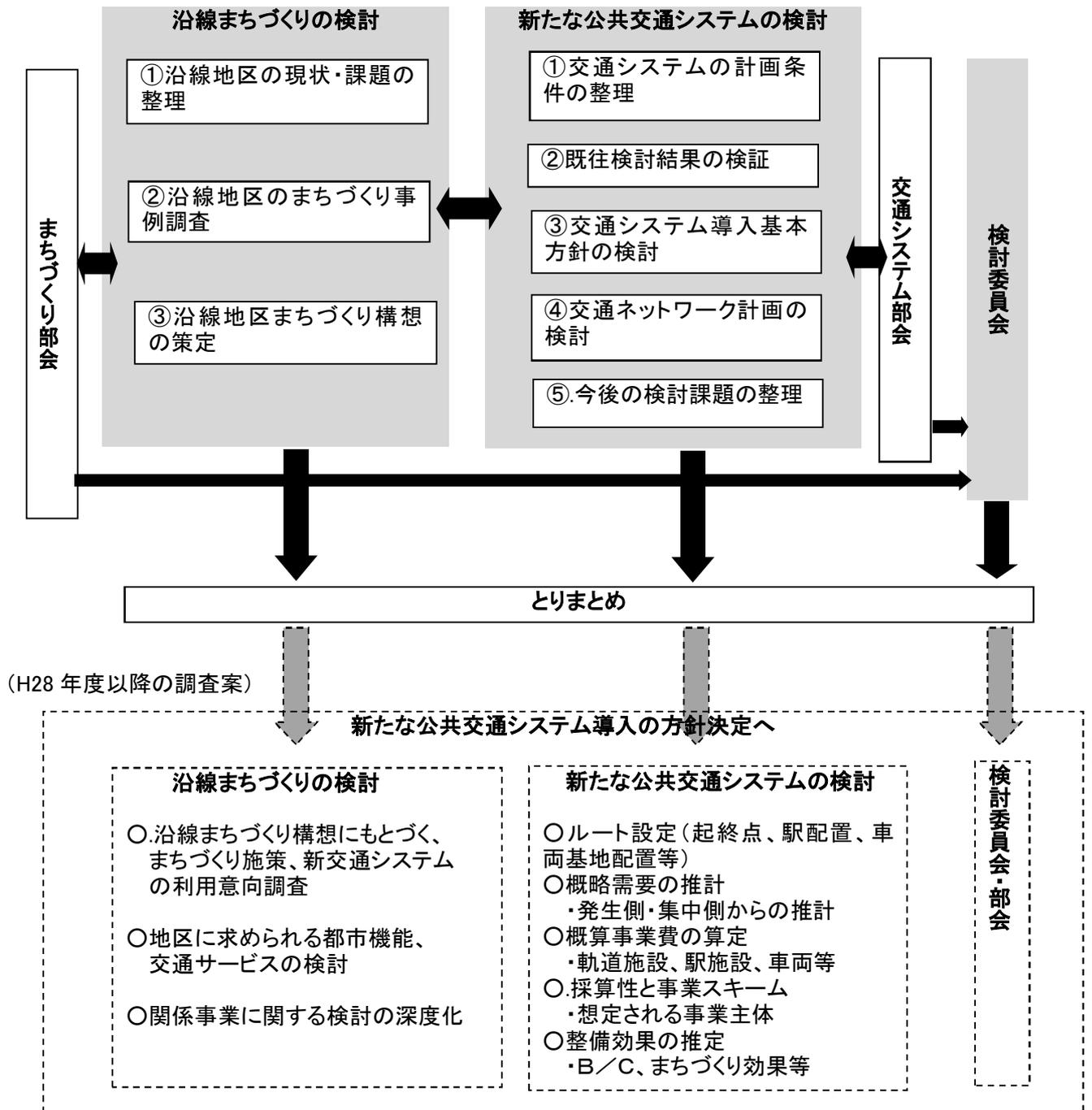


図1 調査の進め方

表1 検討の進め方

各会議の工程と主な議題

会議日程	検討委員会	まちづくり部会	新交通システム部会
11月5日		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経緯、目的・論点 ・地区概況 ・交通システムの概要 ・進め方・スケジュール等 	
12月中旬		<ul style="list-style-type: none"> ・地区の現状・課題 ・まちづくりの方向性素案 	
12月下旬	中間報告と評価		
1月下旬		<ul style="list-style-type: none"> ・沿線まちづくり構想素案 (まちづくりの方向性、新たな交通システムの役割、まちづくり施策の体系) 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通システムの計画条件 ・検討概要(既往検討の検証) ・新交通システム導入基本方針素案 ・交通ネットワーク計画素案 ・今後の検討課題の整理
2月下旬	最終報告と評価		
回数	3回	4回	3回
	10回		